

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公開番号】特開2010-122448(P2010-122448A)

【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2008-295797(P2008-295797)

【国際特許分類】

G 03 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月21日(2011.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成が実行されていない状態の消費電力を低減させる省電力モードを有する画像形成装置において、

シートにトナー画像を形成する像形成手段と、

前記トナー画像をシートに定着する定着部と、

前記定着部の温度を検出する温度検出手段と、

前記定着部の温度を目標温度となる様に制御する温度制御手段と、

画像形成終了後、前記目標温度に到達するまでに要する時間が、前記省電力モードから復帰する際の前記制御部の立ち上がりに要する時間よりも長くなるような所定温度よりも低くなることが前記温度検出手段により検出されると前記画像形成装置を前記省電力モードへ移行させる制御部と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記制御部は、前記定着部の温度と、該温度から前記目標温度に到達するのに要する時間との関係を示すデータを記憶したテーブルを有することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

画像形成開始の指示を監視する監視部を有し、前記省電力モードの状態では、前記監視部には電力供給され、前記制御部には電力供給されないことを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記制御部は、直前の画像形成ジョブの継続時間が第1の時間の場合に、直前の画像形成ジョブの継続時間が前記第1の時間よりも短い第2の時間の場合よりも、前記所定温度を低くすることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記の課題を解決するために、本発明の画像形成装置は、画像形成が実行されていない状態の消費電力を低減させる省電力モードを有する画像形成装置において、シートにトナー画像を形成する像形成手段と、前記トナー画像をシートに定着する定着部と、前記定着部の温度を検出する温度検出手段と、前記定着部の温度を目標温度となる様に制御する温度制御手段と、画像形成終了後、前記目標温度に到達するまでに要する時間が、前記省電力モードから復帰する際の前記制御部の立ち上がりに要する時間よりも長くなるような所定温度よりも低くなることが前記温度検出手段により検出されると前記画像形成装置を前記省電力モードへ移行させる制御部と、有することを特徴とする。